

棚田学会現地見学会・シンポジウム

「琵琶湖流域の棚田景観を読み解く ～受け継がれる水文化～」

【日 時】 2016年6月26日（日） 13:00～16:00

【場 所】 成安造形大学 聚英ホール（200名）

【内 容】

本シンポジウムでは、湖から山まで、ひとつらなりの自然を生み出している琵琶湖辺集落をフィールドに、流域の観点から棚田景観の歴史的变化を読み解き、そこで暮らす人びとが受け継いできた水文化に対する理解を深めることを目的としています。

歴史や伝承、人々の営みの視点から、棚田とそこで培われてきた水文化を読み解くことにより、従来の棚田イメージを少しズラして、多様な棚田の読み解き方を提示することを試みます。また、大学と地域が連携した棚田保全の取り組みや調査研究と実践をつなぐ活動事例をもとに、世代をつなぐための工夫やしくみについて、みなさんと一緒に考えたいと思っています。

【参加費】 無料

【プログラム】

開会あいさつ

基調講演「歴史からみる近江の棚田」

（滋賀県立大学 水野章二教授）

報告① 「仰木の宮座と水をめぐる伝承」

（成安造形大学 加藤賢治准教授）

報告② 「水と暮らしを次世代につなぐ」

（びわこ成蹊スポーツ大学 嘉田由紀子学長）

パネルディスカッション

「琵琶湖流域の棚田景観を読み解く～受け継がれる水文化～」

司 会： 山本早苗氏（常葉大学 准教授）

パネラー： 水野章二氏、加藤賢治氏、嘉田由紀子氏、小坂育子氏（水と文化研究会 事務局長）

コーディネーター： 穴風光恵氏（成安造形大学 助教）、北井 香氏（滋賀県立大学 地域共生センター 特定プロジェクト研究員）

総括

閉会あいさつ